



## リニア中央新幹線建設の即刻中止を！ 申「第3号」であらためて申し入れる

JR東海労はこの間、リニア中央新幹線建設に反対し計画の中止を何度も申し入れてきました。『JR東海労申第37号』（2020年5月25日付）についても「3. リニア中央新幹線建設については「コロナ禍」による今後の社会の変化と大幅な減収に鑑み中止すること。」と申し入れているが、会社（窓口回答）は「中央新幹線については、財政投融资を活用した借入により資金を確保していることから、着実に進めていく。」であり、我々の申し入れを一顧だにしない態度です。

いわゆる「コロナ禍」による大幅な減収減益により、会社は「業績予想」すら見通すことができないことを自ら認めているにも関わらず、リニア中央新幹線建設の工期の見直しはおろか、その他の「各種施策については計画通り実施する予定である」と明らかにしました。

**収入の見込みが立たない中における、従前の施策推進は盲目的と言わざるを得ず、社員さらには関係会社の社員への影響を危惧せざる得ない状況と考えます。**

「コンコルド錯誤」という言葉があります。超音速旅客機・コンコルドは当初から採算ベースにのらないとの見通しはあったものの、いったん動き出した計画を途中で止めることができず、開発会社が膨大な債務を抱え倒産したことから「ここで諦めたらこれまで費やしてきた時間やお金が無駄になるかも、だからもう少し続けよう」という心理状態を表します。JR東海は今、この「コンコルド錯誤」の状態に落ちているのではないのでしょうか。また「都合の悪い情報を無視したり、まだまだ大丈夫」という正常性バイアスがかかっているのではないのでしょうか。

7月2日「申第3号」でリニア中央新幹線建設の即刻中止を申し入れました。

### 申「第3号」の内容

1. リニア中央新幹線建設の品川―名古屋間の建設費は5兆5千億円であり、財政投融资で借り入れた3兆円を差し引いた2兆5千億円の東海道新幹線からの収益確保の見通しを明らかにすること。
2. 2020年度もこれまで同様の営業利益を確保できると考えているのか明らかにすること。
3. リニア中央新幹線建設は即刻中止すること。